

令和2年度林野庁補助事業

—学童期と幼児期が連動した活動促進の仕組みづくりを考える—

「森林環境教育・森林ESD」「緑の少年団」推進全国セミナー 開催要綱

【開催日程】 令和2年10月28日(水) 13:30～18:00、29日(木) 13:30～17:45

【開催場所】 オンライン会議システム「Webex」及び「YouTube」

《開催趣旨》

- 2020年度から、小学校では主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)や地域資源を活用した教科横断的な学習等を重視した新たな「学習指導要領」が導入され、本年5月には新たな「学習指導要領」に準拠した「教科書」が公開されました。
- “森林”は体験学習のみならず、関連した調べ学習、問題解決学習等が行いやすく、教科横断性等があることから、有効な学校教育の題材と認識されつつあり、「緑の少年団」等において森林環境教育・森林ESDの進展が期待されます。
- また、2018年4月に、環境を通じた保育・幼児教育の重要性が強調された新たな「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」等が導入され、同年10月には「森と自然の育ちと学び自治体ネットワーク」が結成されるなど、幼児教育の質の向上に向けて「森と自然を活用した保育・幼児教育」への注目は高まっています。
- そこで、新たな「学習指導要領」や「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」等に対応させて、「森林環境教育・森林ESD」や「森と自然を活用した保育・幼児教育」、「緑の少年団」を、学童期と幼児期において効果的に普及・定着させるために、都道府県レベル・市町村レベルの支援体制のあり方や、指導者育成、プログラム等の改善・発展方策等について、先進事例に学ぶオンライン・セミナーを開催します。

◆参加対象 ～こんな方にも、おススメです～

- ① 自治体・関係団体で、学校・園等での「森林環境教育・森林ESD」、「森と自然を活用した保育・幼児教育」、「緑の少年団」等の活動支援を行う組織のスタッフ
- ② 青少年教育施設や森林総合利用施設等において、学校・園等の受入を拡充したい団体等のスタッフ
- ③ 森林NPOやインストラクター等で、学校・園への「出前授業」や「体験活動」の受入を促進したい団体のスタッフ

◆研修内容 ～こんなプログラムをご用意いたします～

- ① 新たな「学習指導要領」と「教科書」における森林・自然等の記載内容や、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」等における森林・自然との関わりから、学童期・幼児期に求められる活動の目的・内容等を紹介します。
- ② 青少年教育施設・森林総合利用施設における「体験活動」の受入や、学校・園等への「出前授業」、園庭や園の裏山の整備等の先進事例から、「森林環境教育・森林ESD」や「森と自然を活用した保育・幼児教育」の支援施策や支援体制のあり方を学びます。
- ③ 先進事例の担当者への質疑応答や、顔合わせ・意見交換の場を設定します。

◆開催概要

〈開催場所〉(都道府県・都道府県緑化推進委員会) オンライン会議システム「Webex」

(その他一般) Youtube

〈募集人数〉100名(定員になり次第、締め切りますので、お早めにお申し込みください)

〈参加費〉無料

〈申込方法〉下記「申込フォーム」からお申し込みください。

なお、フォームにアクセスできない場合は、①組織名、②氏名、③部署・役職名、④住所、⑤TEL、⑥FAX
⑦E-mail、⑧参加日程(1日目・2日目)⑨備考を、お問合せ先までE-mailにてお送りください。

《申込フォーム》[コチラからアクセス](#)

〈申込締切〉令和2年10月21日(水)

主催:(公社)国土緑化推進機構 共催:全国緑の少年団連盟

【プログラムと各講師紹介】

◆1日目[10月28日(水)]

○ 新たな「学習指導要領」とそれに対応した「教科書」の記載内容の紹介や、学校への「出前授業」や「体験活動」の受入の先進事例から、今後、「森林環境教育・森林ESD」や「緑の少年団」を促進する上で必要となる理論や手法、枠組みを学びます。

【1日目】
13:30～
18:00

1. 開会挨拶 沖 修司（公社）国土緑化推進機構 専務理事）
木下 仁（林野庁 森林利用課 山村振興・緑化推進室）
2. 基調講演（1）「新たな「学習指導要領」における「森林」の位置付けとその重要性」
～教育的視点を併せ持った、地域と学校が連携した「森林ESD」の提案～
山下 宏文（京都教育大学 教授）
3. 概要報告（1）「森林環境教育・緑の少年団等の支援施策の状況」
～都道府県を対象にした実態調査の傾向と特色ある取組の紹介～
（公社）国土緑化推進機構 政策企画部
（2）「新たな「小学校教科書」における森林に関する記述と授業展開の可能性」
寺嶋 嘉春（一社）日本森林インストラクター協会 会長
～休憩～
4. 事例報告（1）青少年教育施設と連携した「体験活動」受入れの仕組みづくり
①「青少年教育施設と連携した森林環境学習「やまのこ」事業」
～滋賀県内全小学校4年生を対象にした体験学習と事前・事後学習～
廣瀬 正明（滋賀県 森林政策課長）
②「国有林・遊々の森を活用した青少年教育施設での体験林業等実施」
～東京都多摩市内全小学校6年生を対象にしたプログラム提供～
五味 直喜（多摩市立ハケ岳少年自然の家（一社）富士見町開発公社）
（2）学校への「出前授業」の仕組みづくり
③「森林インストラクターの育成と一体となった「森林学習等支援事業」」
～プログラム開発・フィールド紹介・指導者派遣・道具等貸出・活動
助成が一体となったトータルのサポート体制の構築～
豊丸 敏秋（公財）かながわトラストみどり財団）
④「森林NPOと連携した「緑の少年団」設置校等への出前講座の実施」
～島根県緑の少年団連盟の加入団向け研修と一体となった出前講座～
持田 守夫（公社）島根県緑化推進委員会 常務理事・事務局長）
5. 質疑応答・まとめ
（登壇者）
基調講演・概要報告・事例報告者
（コメンテーター）
木下 仁（林野庁 森林利用課 山村振興・緑化推進室）
6. 閉会
（都道府県・都道府県緑化推進委員会・関係団体のみ）
・講師との顔合わせ・意見交換

◆2日目[10月29日(木)]

- 新たな「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」等における森林・自然等の取り扱いや、都道府県・市町村・関係団体等による幼児期における「森と自然を活用した保育・幼児教育」や「緑の少年団」に関わる支援施策・支援体制の先進事例から、幼児期における活動促進に必要となる理論や支援策を学ぶ。

2日目
13:30～
17:45

1. 開会・オリエンテーション

2. 基調講演

「新たな「幼稚園教育要領」等における「自然」の位置付けとその重要性」

山口 美和（上越教育大学大学院 准教授）

3. 事例報告（1）都道府県森林環境税を用いた個別園等への支援

- ）
- ① 畠山 真紀子（秋田県 農林水産部 森林整備課 調整・担い手班 副主幹）
 - ② 今井 翔（長野県 林務部 森林政策課 企画係 主任）

～休憩～

（2）保育園・幼稚園等による裏山等の森林整備・活用への支援

- ③ 綾部 勉（公益社団法人 北海道森と緑の会 事務局長）
- ④ 上田 融（NPO 法人いぶり自然学校 代表理事）

（3）「森林総合教育センター（morinos）」開設を通じた市町村支援・指導者養成

- ⑤ 井田 琢也（岐阜県立森林文化アカデミー 森林総合教育センター（morinos））

（4）林務部署が主体になった「しが自然保育認定制度」創設

- ⑥ 神前 武史（滋賀県 琵琶湖環境部森林政策課 交流推進係 副主幹）

（5）幼児期における「緑の幼年団」の登録・支援

- ⑦ 白川 敦朗（公益社団法人 青森県緑化推進委員会）

4. 質疑応答・まとめ

（登壇者）

基調講演・事例報告者

（コメンテーター）

木下 仁（林野庁 森林利用課 山村振興・緑化推進室）

5. 閉会

（都道府県・都道府県緑化推進委員会・関係団体のみ）

- ・講師との顔合わせ・意見交換
- ・都道府県・都道府県緑化推進委員会向けの新たな支援事業の説明・質疑応答

お申込先・お問合せ

公益社団法人国土緑化推進機構 政策企画部 [担当:山本・矢島・木俣・富永]

TEL : 03-3262-8437 FAX : 03-3264-3974 E-mail : comis@green.or.jp